

ズワイガニ保護区の拡大

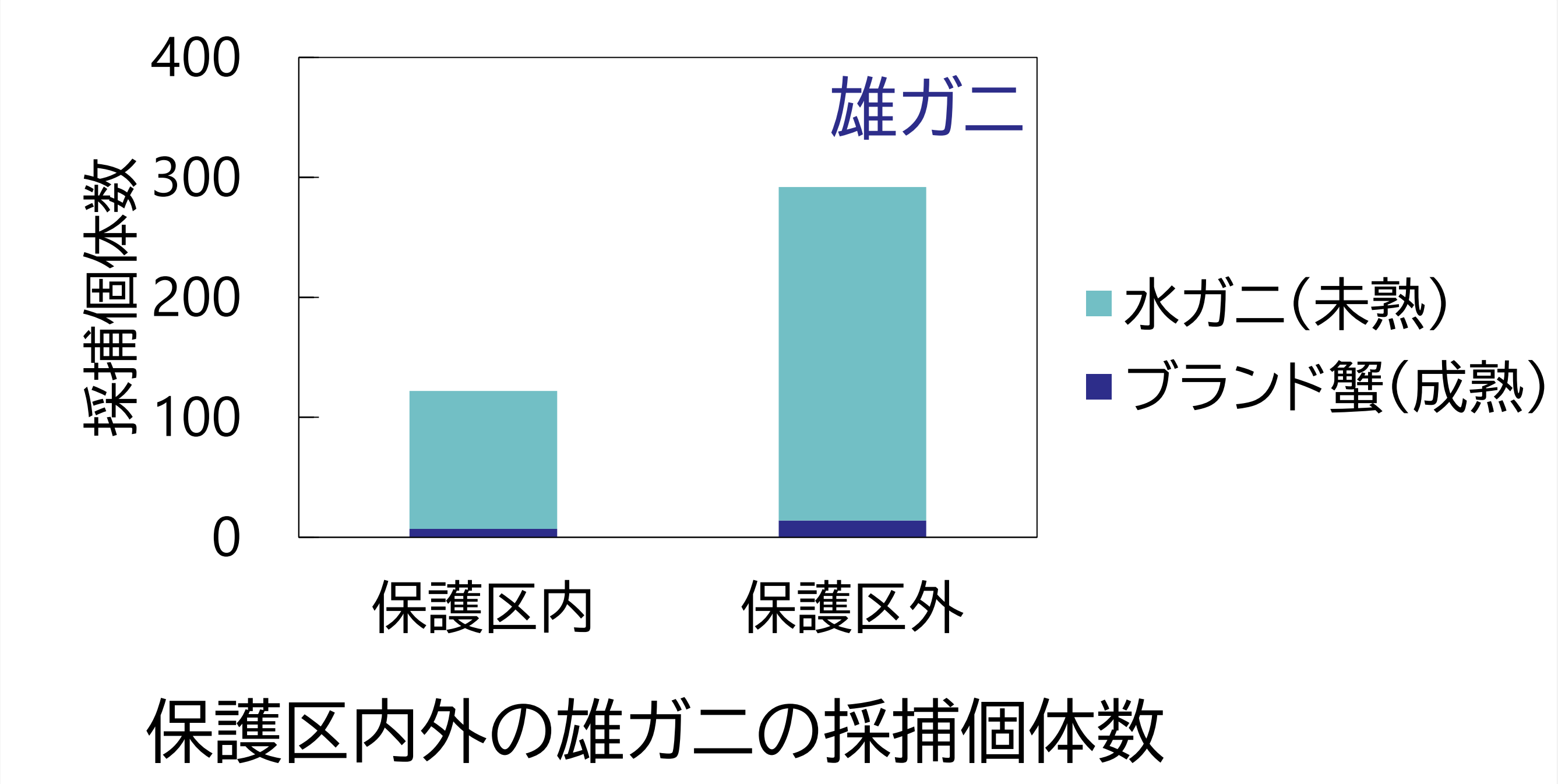
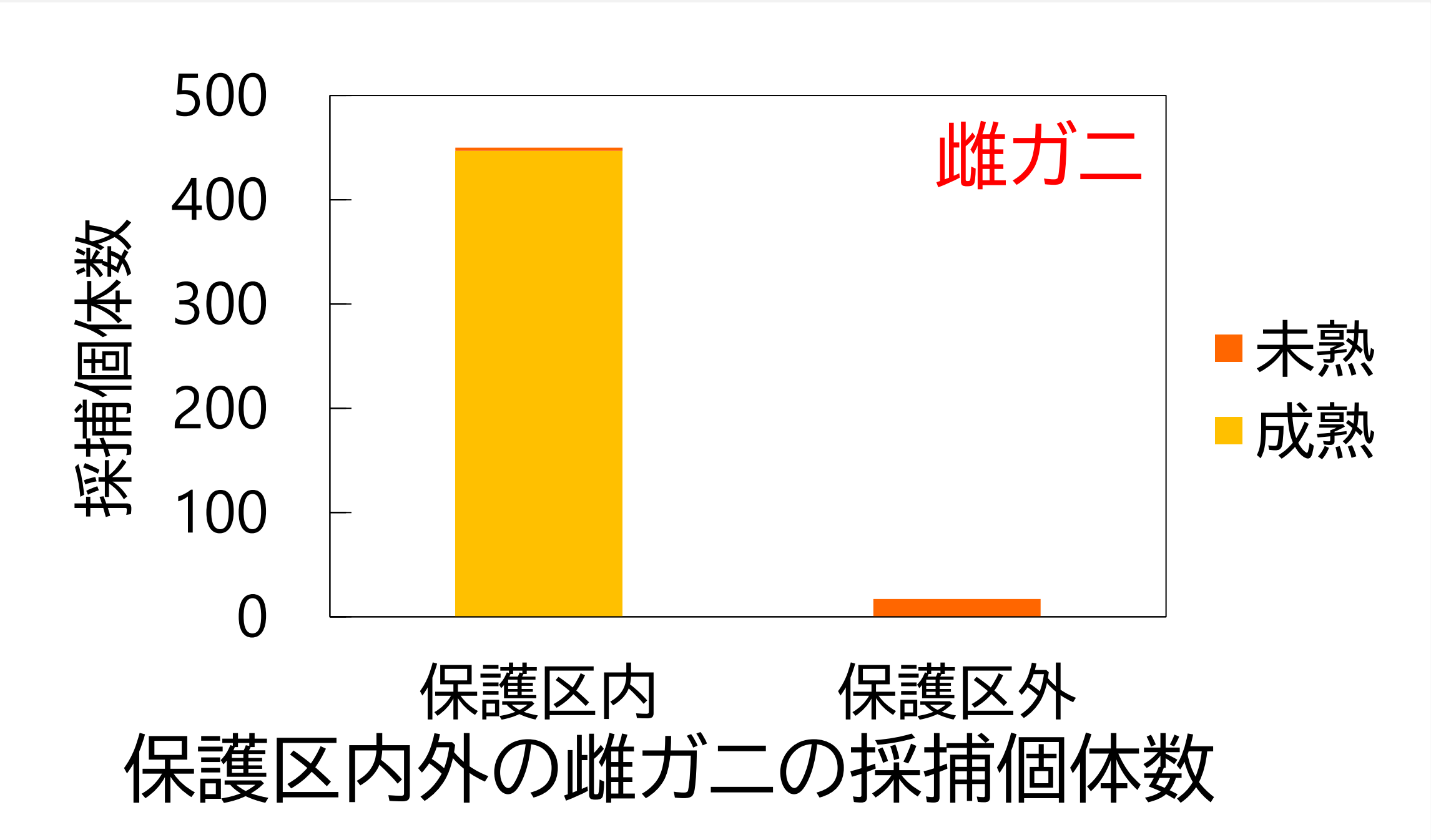
海洋センター

問い合わせ先:海洋センター研究部 0772-25-3077

- 主な成果
- ズワイガニ保護区の有効性を確認しました。
 - 保護区拡大により、ブランド蟹の資源量は6年後に**約55%増加**すると試算されました。

カニ籠調査(保護区内 vs 保護区外)

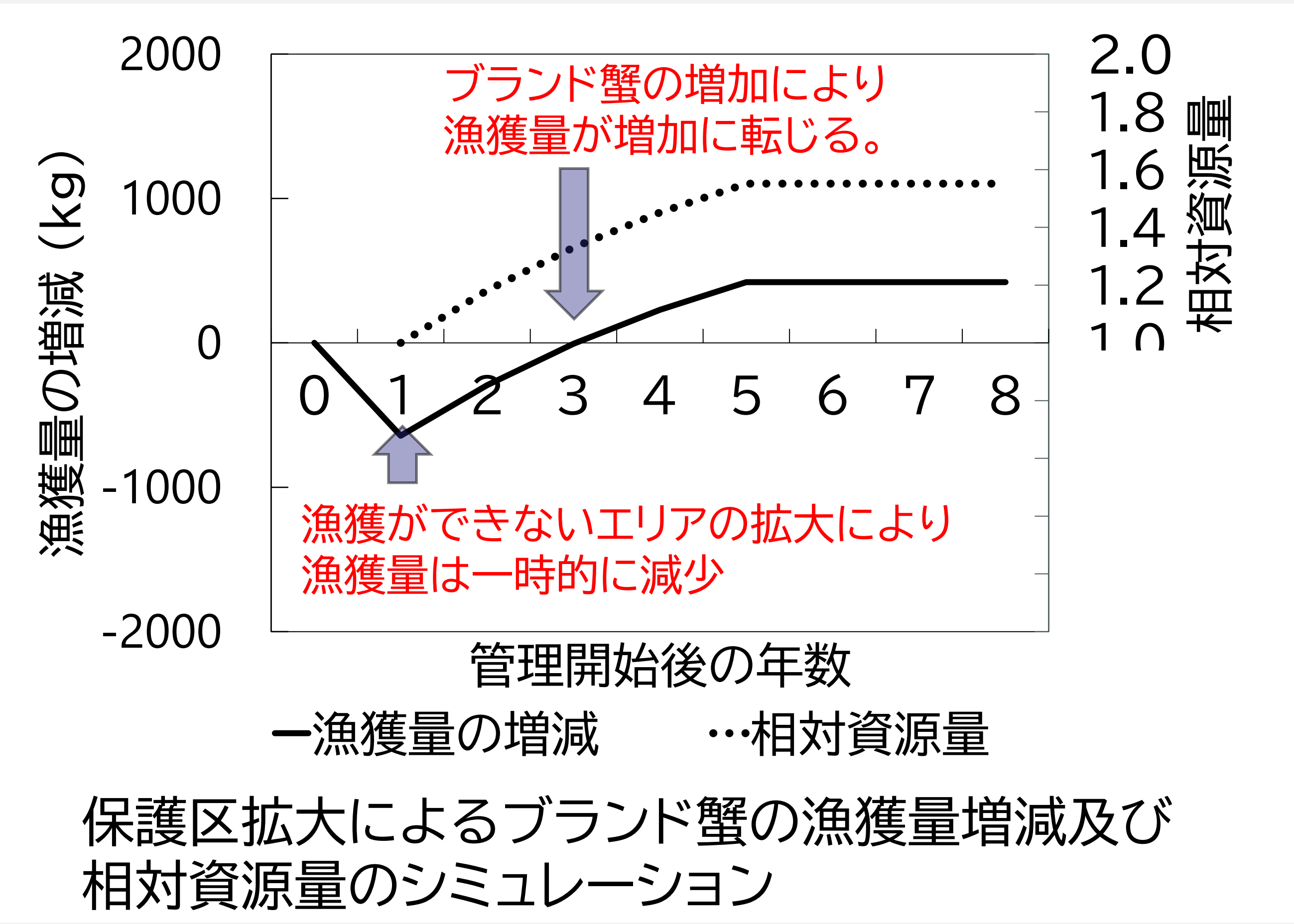
- 保護区内に「成熟雌」が多い
(漁獲から逃れ、再生産に寄与)
▶ 保護区の有効性を確認
- 近年、利用されている一部の保護区内外では、雄ガニの約95%が「水ガニ*」であることを確認
▶ 保護区内と同様に保護区外でも漁獲の制限が必要



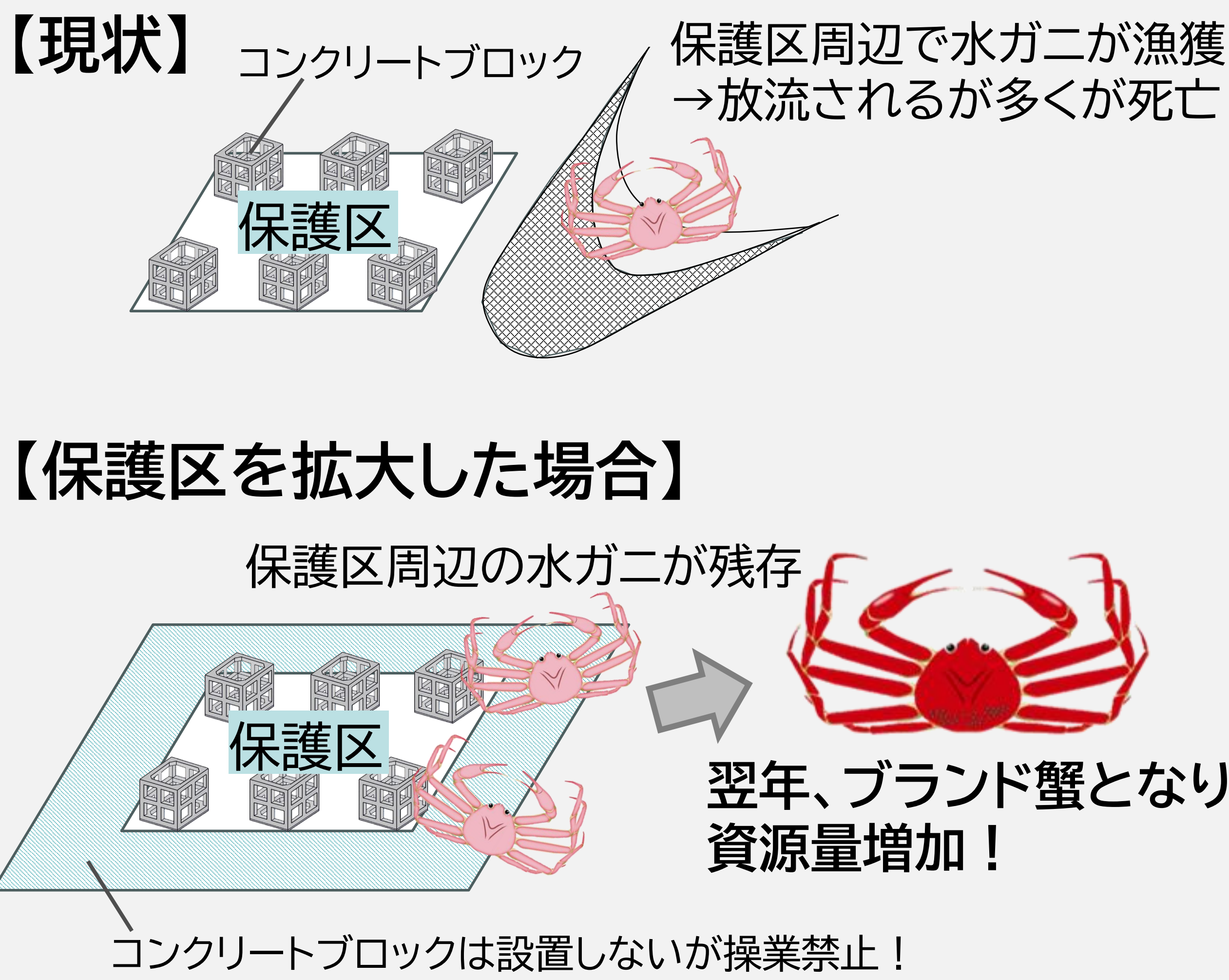
*水ガニ:脱皮直後で甲殻が軟らかい雄ガニ
京都府では自主的に水揚げ禁止となっており、漁獲後に放流されるが、放流後の死亡率が高い(死亡率25-75%)

保護区拡大のシミュレーション(水ガニの保護)

- 水ガニが特に多い保護区周辺1マイルの拡大により、ブランド蟹の資源量は**6年後に約55%増加**！！
- 4年後には現状の漁獲量を上回ると試算



保護区拡大によるブランド蟹の漁獲量増減及び相対資源量のシミュレーション



- 期待される波及効果
- 保護区拡大により、ブランド蟹の資源量は6年後に**約55%増加**
 - 今後、府沖合で操業する底びき漁業者に**保護区の拡大**を提案